

最近の管内経済概況

(2022年4月の経済指標を中心として)

～ 持ち直しの動きがみられる ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、持ち直しの動きがみられる。
- 個人消費は、一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる。
- 観光は、一部に持ち直しの兆しがみられる。
- 公共工事は、減少している。
- 住宅建設は、弱まっている。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、弱い動きがみられる。
- 企業倒産は、件数、負債総額とも増加している。

全体として、管内経済は、持ち直しの動きがみられる。

なお、先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2022年6月16日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

U R L : <https://www.hkd.meti.go.jp>

管内経済概況判断の推移

(2022年6月現在)

発表月	2022年1月	2月	3月	4月	5月	6月	前月との判断比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる	<u>新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きが弱まっている</u>	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きが弱まっている	<u>持ち直しの動きに弱さがみられる</u>	持ち直しの動きがみられる	
生産活動	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	<u>持ち直しの兆しがみられる</u>	持ち直しの兆しがみられる	<u>持ち直しの動きがみられる</u>	持ち直しの動きがみられる	
個人消費	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる	<u>持ち直しの動きに弱さがみられる</u>	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	<u>一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる</u>	
観光	一部に持ち直しの兆しがみられる	一部に持ち直しの兆しがみられる	<u>弱い動きがみられる</u>	弱い動きがみられる	<u>一部に持ち直しの兆しがみられる</u>	一部に持ち直しの兆しがみられる	
公共工事	減少している	減少している	<u>増加している</u>	増加している	増加している	<u>減少している</u>	
住宅建設	持ち直しの動きがみられる	<u>持ち直しの動きに弱さがみられる</u>	持ち直しの動きに弱さがみられる	<u>弱まっている</u>	弱まっている	弱まっている	
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	
雇用動向	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	
企業倒産	件数は増加、負債総額は減少している	件数は同数、負債総額は減少している	件数、負債総額とも増加している	件数は減少、負債総額は増加している	件数、負債総額とも増加している	件数、負債総額とも増加している	

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

 上方修正  据え置き  下方修正

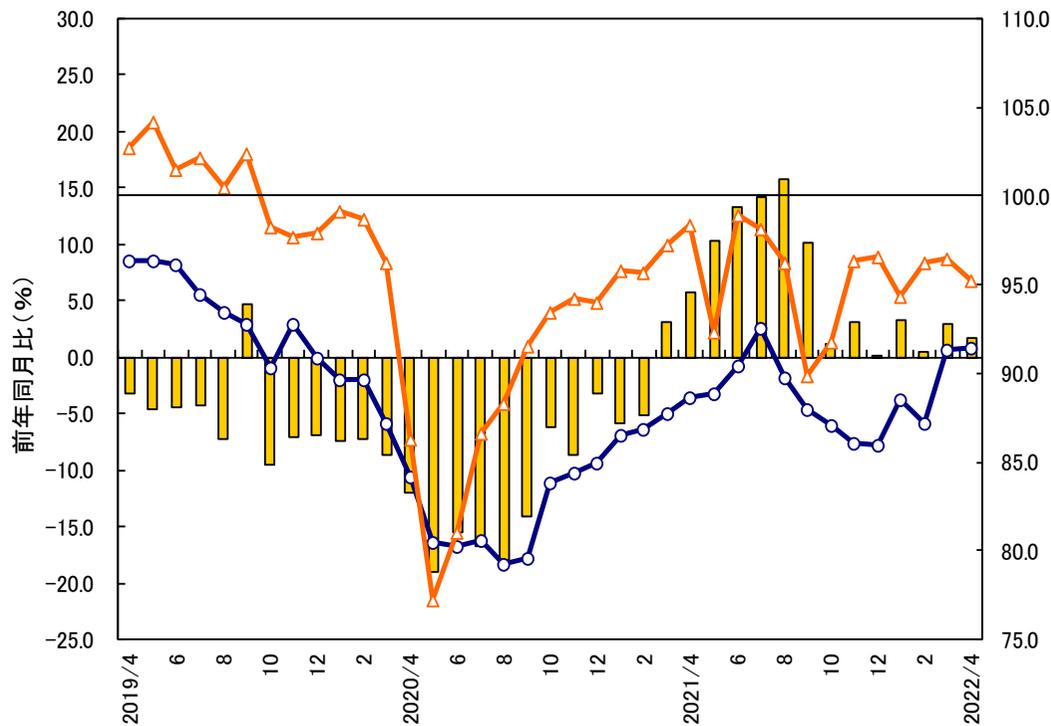
生産活動 ～ 持ち直しの動きがみられる ～

4月の鉱工業生産は、前月比+0.1%と2か月連続で上昇した。前年同月比は+1.7%と14か月連続で上昇した。上昇業種は、輸送機械工業など9業種となった。低下業種は、金属製品工業など6業種となった。

< 4月 >
 季節調整指数
 北海道(速報) 91.4 (前月比+ 0.1%)
 全国(速報) 95.2 (前月比▲ 1.3%)

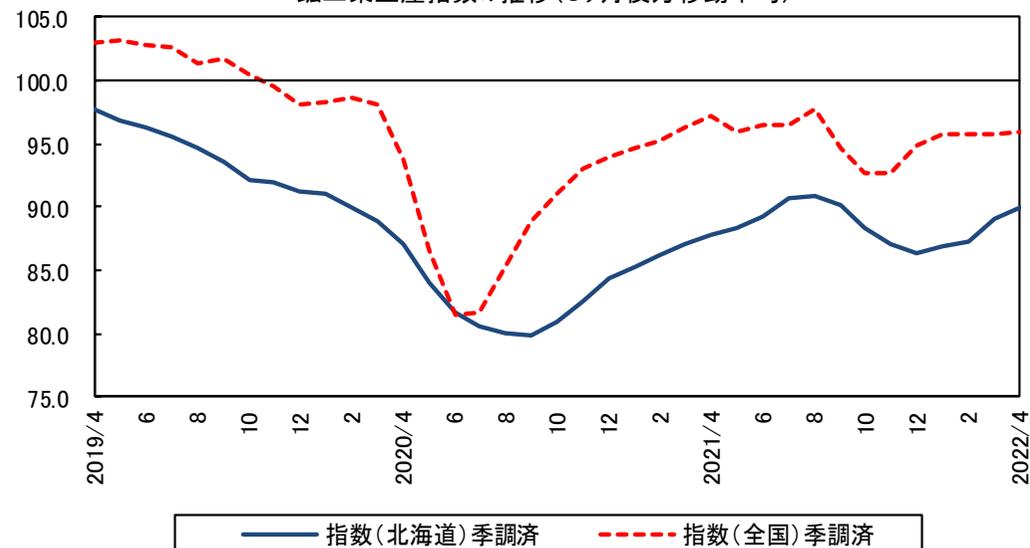
	業種	前月比(%)	前年同月比(%)	主な品目
上昇 9業種	輸送機械工業	+ 14.9	+ 0.9	自動車部品
	化学・石油石炭製品工業	+ 8.4	+ 9.5	化学・石油石炭製品
	電気機械工業	+ 5.5	▲ 4.8	電子部品
低下 6業種	金属製品工業	▲ 21.3	+ 6.0	鉄骨

鉱工業生産指数(2015年=100.0)



■ 前年同月比(原指数) ● 指数(北海道)季調済 ▲ 指数(全国)季調済

鉱工業生産指数の推移(3ヶ月後方移動平均)



(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

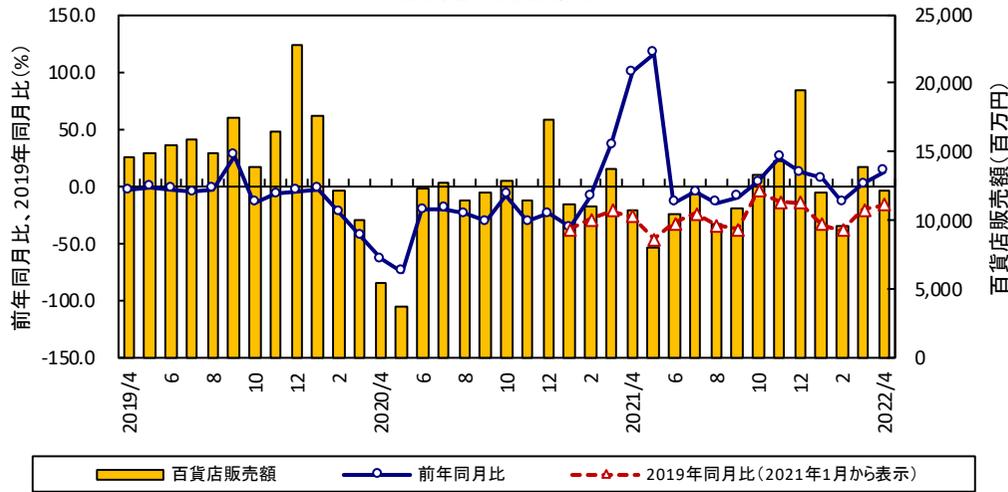
個人消費 ～ 一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる ～

4月の個人消費は、新車販売は前年を下回ったものの、他の6業態は前年を上回った。

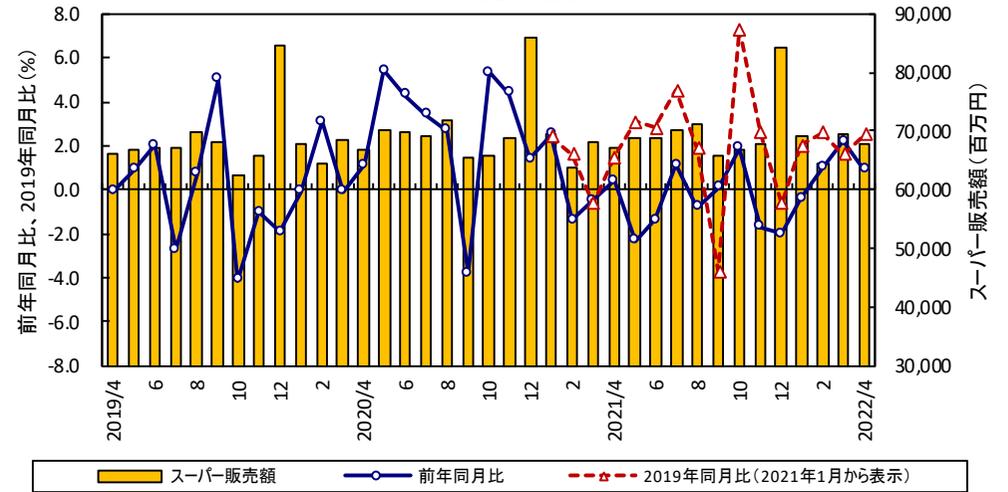
※2019年同月比は、北海道経済産業局「北海道百貨店・スーパー販売動向」掲載の販売額などから算出。

- 百貨店は、全体的に売上げが好調で、前年同月比+13.1%（2019年同月比▲16.5%）と2か月連続で前年を上回った。
- スーパーは、飲食料品の売上げが好調で、同+0.9%（同+2.5%）と3か月連続で前年を上回った。
- コンビニエンスストアは、同+3.9%（同+1.5%）と6か月連続で前年を上回った。

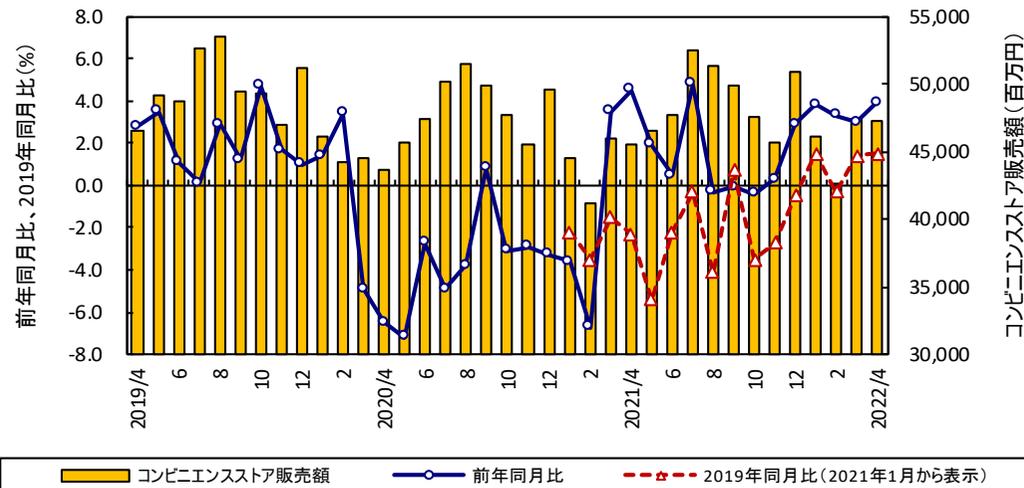
百貨店販売額推移



スーパー販売額推移



コンビニエンスストア販売額推移



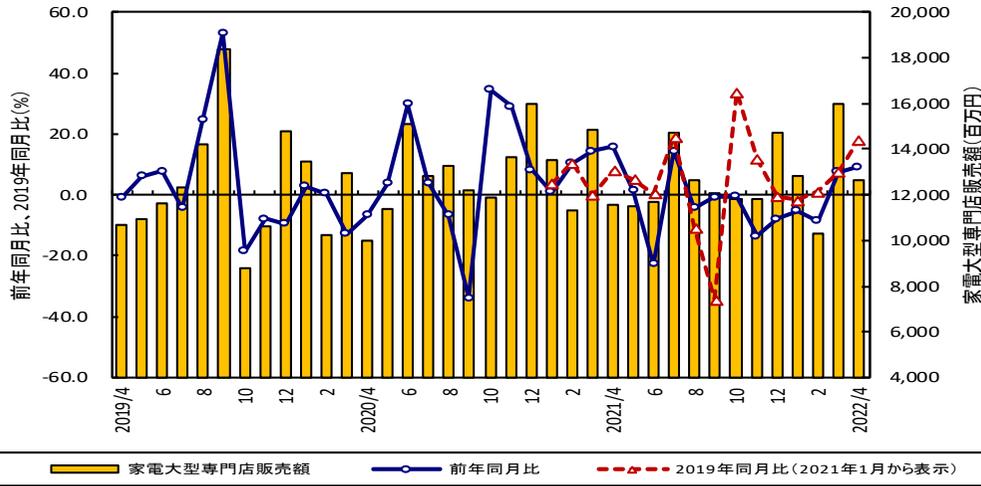
※ 2020年3月に対象事業所の見直しを行ったスーパーの2020年2月以前の販売額については、整合性を図るため調整済み。

【ヒアリング内容】

- まん延防止等重点措置終了の方針が示された3月中旬頃から、売上げ及び客数が増加しており、4月も好調に推移した。外出の機会が増加したことに加え、気温が上昇したこともあり、春物衣料など衣料品の売上げが好調だった。（百貨店）
- 前年から多くの食料品が値上がりしているほか、一部の野菜で相場高が続いている。惣菜の売上げは堅調だった。（スーパー）
- 3月に引き続き売上げが好調だった。外出の機会が増えたことで、おにぎりや飲料の売上げが伸びている。巣ごもり需要で好調だった惣菜の売上げが、まん延防止等重点措置が終了した後も、堅調に推移している。（コンビニエンスストア）

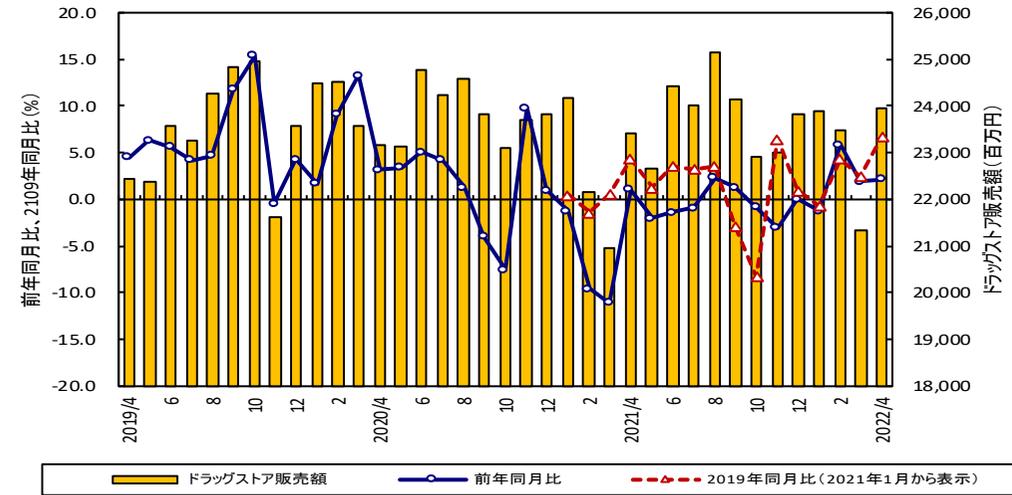
- 家電販売は、同+9.3%（同+18.1%）と2か月連続で前年を上回った。ドラッグストアは、同+2.2%（同+6.7%）と3か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同+4.8%（同+10.3%）と4か月ぶりに前年を上回った。
- 新車販売は、同▲6.8%（同▲24.3%）と10か月連続で前年を下回った。

家電大型専門店販売額推移



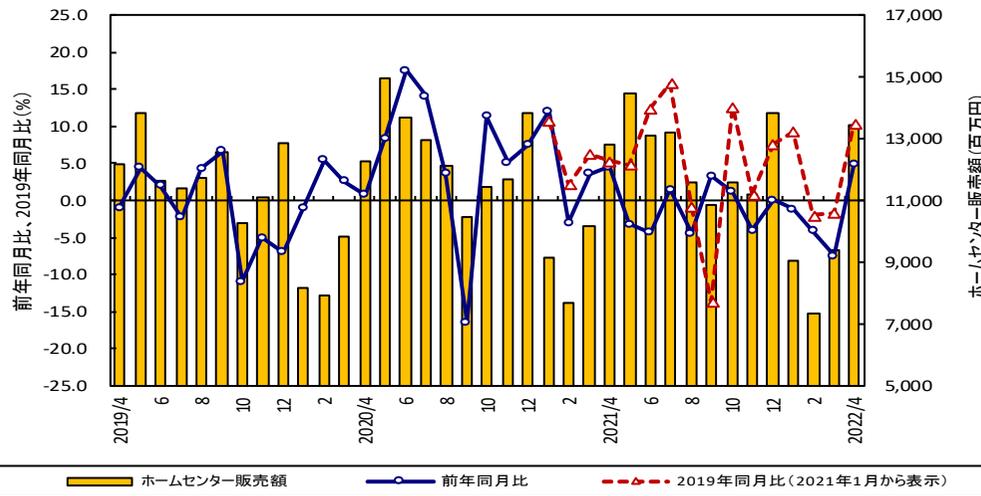
(資料：北海道経済産業局)

ドラッグストア販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

ホームセンター販売額推移

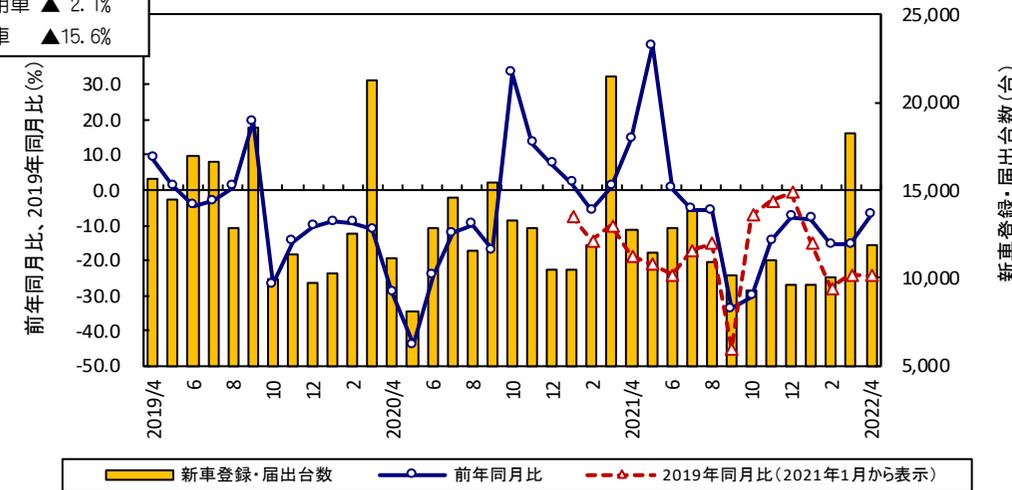


(資料：北海道経済産業局)

< 4月 >

- 普通乗用車 ▲ 2.5%
- 小型乗用車 ▲ 2.1%
- 軽自動車 ▲ 15.6%

新車登録・届出台数推移



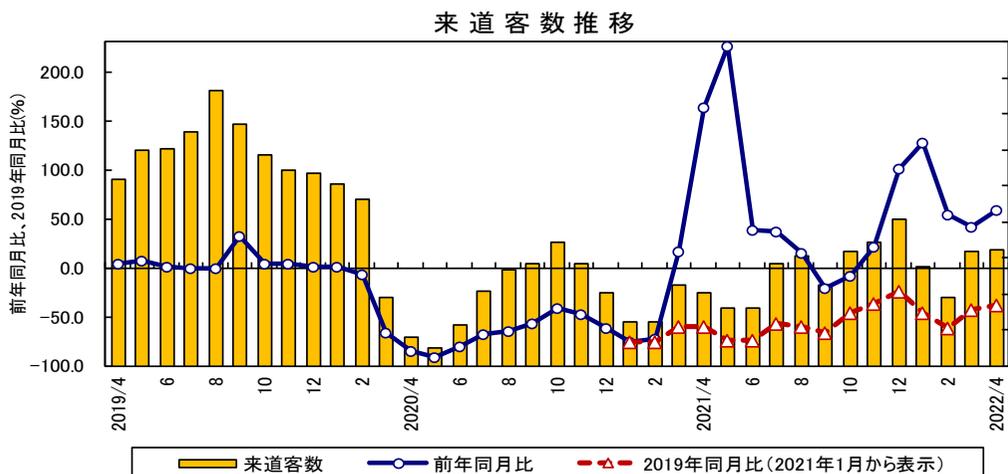
(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

【ヒアリング内容】

- エアコンの売上げが好調に推移しているほか、冷蔵庫や洗濯機などは高価格帯のものがよく売れている。（家電大型専門店）
- 外出の機会が増えているようで、化粧品の売上げが回復傾向にある。調剤医薬品の売上げが堅調に推移している。（ドラッグストア）
- 晴れた日が多く、気温も高かったことから、園芸用品や外回り関連商品の売上げが好調だった。（ホームセンター）

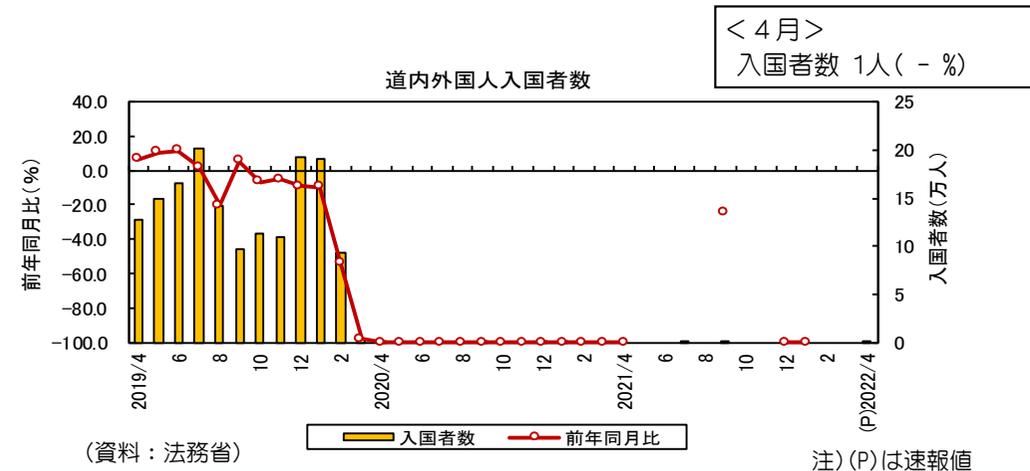
観光 ～ 一部に持ち直しの兆しがみられる ～

4月の来道客数は、前年同月比+58.9%（2019年同月比▲37.5%）と6か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、1人であった。



< 4月 > 来道客数 647,758人 (+58.9%)
 ※北海道外から航空機（国内線）、JR（北海道新幹線）、フェリーを利用して来道した旅客数。
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

(資料：(公社)北海道観光振興機構)



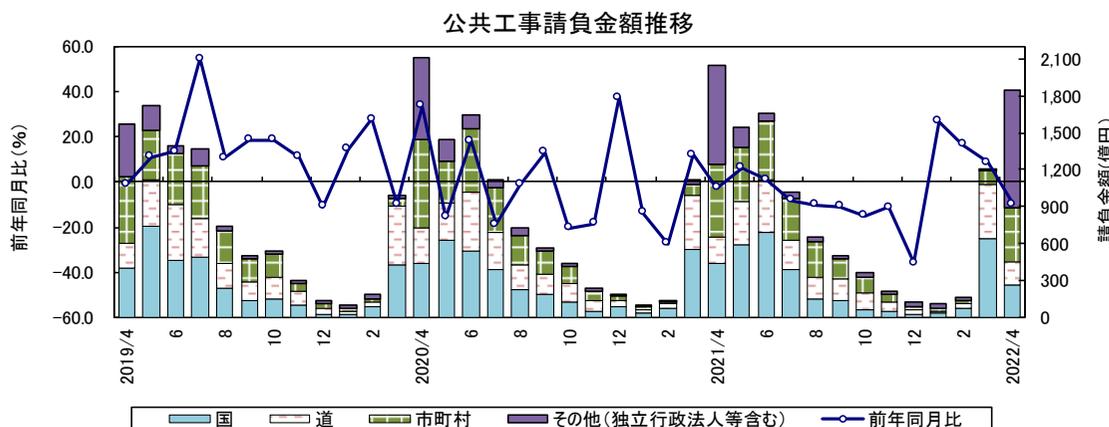
< 4月 >
 入国者数 1人(-%)

【ヒアリング内容】

- 4月は、幅広い年齢層の観光客がみられるとともに、道外ナンバーの車も多く、宿泊者数も週末を中心に前年より良かった。5月は、前年と異なり外出自粛要請等がなかったため、特にGW前半は人出が多く、宿泊者数も好調だった。また、GW後は、道内や一部道外からの修学旅行生がみられるようになった。(観光協会)

公共工事 ～ 減少している ～

4月の公共工事請負金額は、国、道、市町村の全てで前年を下回り、前年同月比▲9.8%と4か月ぶりに前年を下回った。



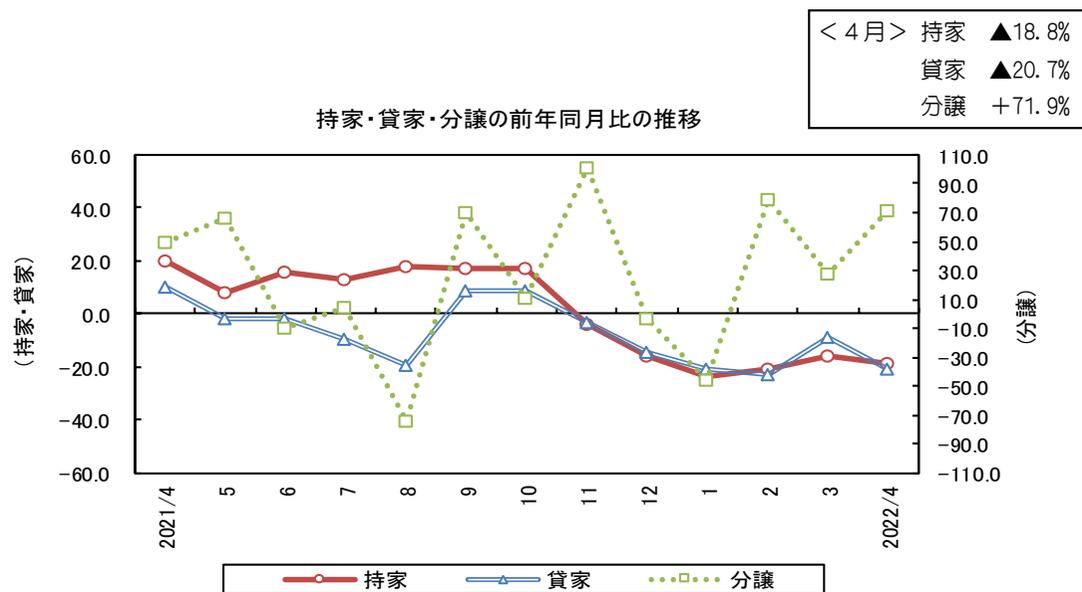
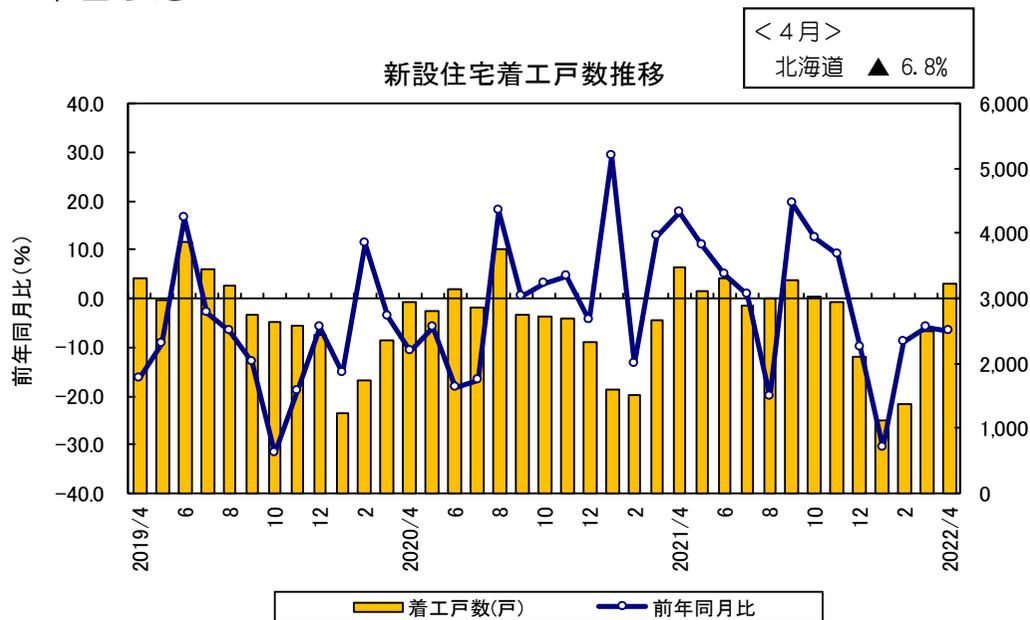
< 4月 >
 北海道 ▲9.8%
 (内訳)
 国 ▲40.3% 道 ▲11.4% 市町村 ▲24.1% その他 +17.5%

(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

住宅建設 ～ 弱まっている ～

4月の新設住宅着工戸数は、分譲は前年を上回ったが、持家、貸家が前年を下回り、前年同月比▲6.8%と5か月連続で前年を下回った。



(資料：国土交通省)

民間設備投資 ～ 増加している ～

2021年度の設備投資計画は、全体で前年度比+5.6%と2年ぶりに前年度を上回った。なお、2022年度は前年度を下回る計画となっている。

日銀短観の設備投資動向

2022年4月1日発表

	2021年度	2022年度
北海道	+ 5.6%	▲ 5.9%
製造業	▲ 25.1%	+ 8.7%
非製造業	+ 23.3%	▲ 11.1%
全国	+ 4.6%	+ 0.8%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2022年3月11日発表

	2021年度	2022年度
全産業	▲ 19.5%	+ 31.9%
製造業	▲ 19.2%	+ 34.4%
非製造業	▲ 19.6%	+ 31.2%

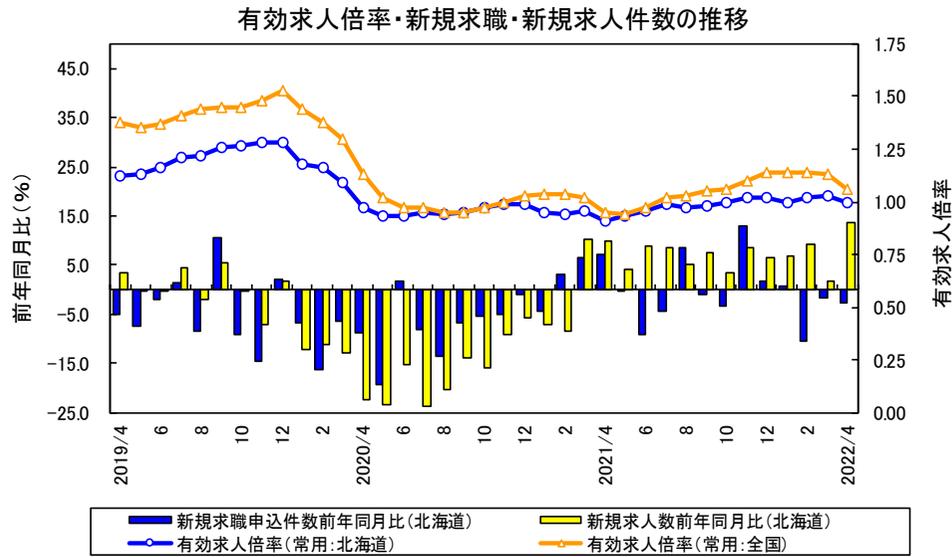
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

雇用動向 ～ 弱い動きがみられる ～

4月の有効求人倍率は、1.00倍と前年同月差0.09ポイント上昇し、11か月連続で前年を上回った。

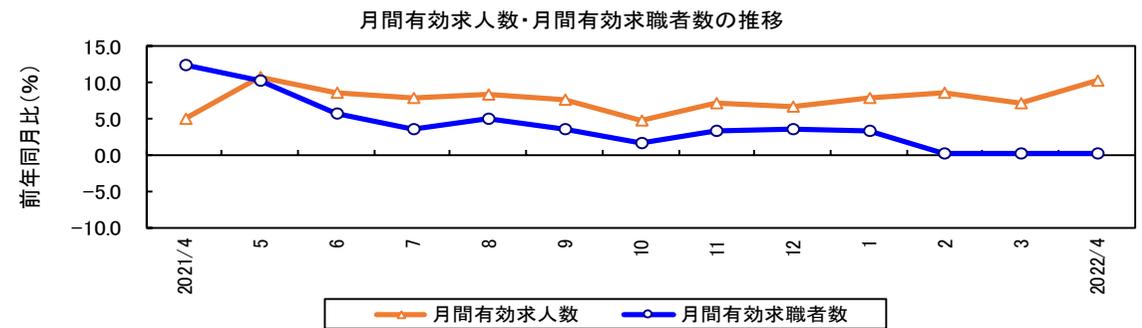


< 4月 >

北海道	有効求人倍率(常用)	1.00倍
	新規求人数(前年同月比)	+13.5%
	新規求職申込件数(前年同月比)	▲ 2.7%
全国	有効求人倍率(常用)	1.06倍

< 4月 >

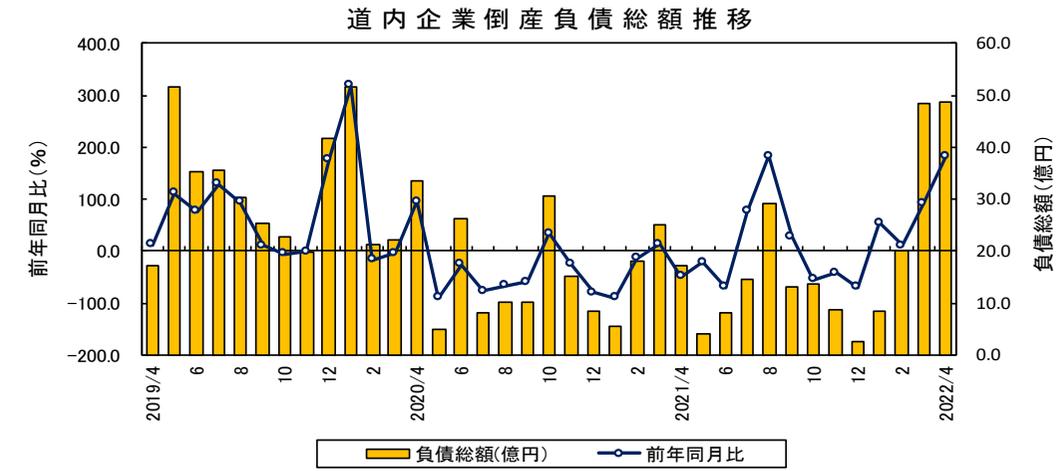
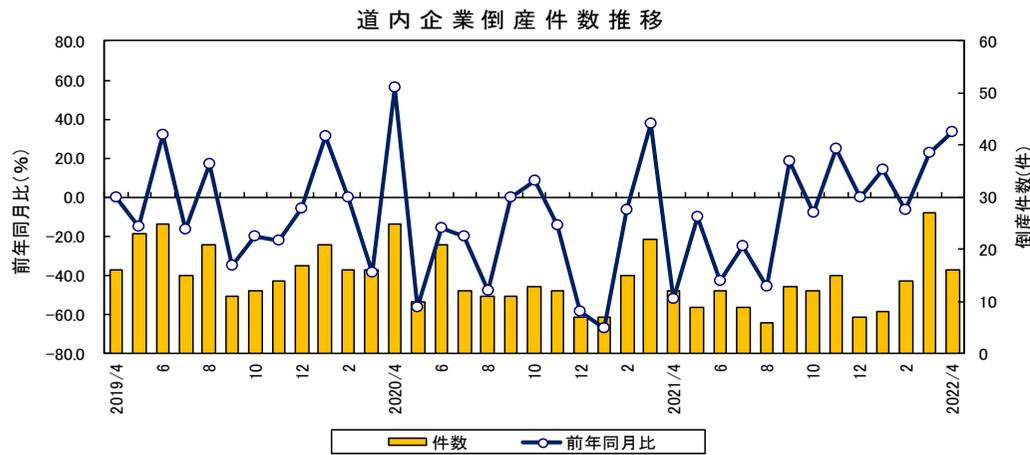
月間有効求人数(前年同月比)	+10.3%
月間有効求職者数(前年同月比)	+0.3%



(資料: 厚生労働省、北海道労働局)

企業倒産 ～ 件数、負債総額とも増加している ～

4月の倒産件数は16件で、前年同月比+33.3% (4件増) と2か月連続で前年を上回った。また、負債総額は48.7億円で、同+181.5%と4か月連続で前年を上回った。



(資料: (株)東京商工リサーチ)